

目標達成計画

作成日: 平成 30年 3月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年6回の運営推進会議を奇数月の日曜日に開催し、ご家族を始め、行政からは市高齢課・地域包括支援センター・介護相談員、地域からは民生委員と多数の参加を頂いている。しかし、地域密着型の施設ではあるが、肝心の地域の有力者の参加がほとんどない。	地域密着型の施設の特徴を元に、地域性を活かせる交流の場として助言や意見交換が出来る運営推進会議を開催する。	自治会への加入 地域の方との交流について、自治会長や地域の有力者の方々から積極的に意見を頂く。 地域の行事やイベント、施設の行事等に参加できるような環境を目指す。	H30/4/1 ～ H31/3/31
2	33	重度化や終末期の対応について明文化されていない。看取りについては視野に入れており、指針は示しているが医療面や職員の知識等の課題があり、体制が取れていない。	重度化や終末期の対応について明文化し、ご本人・ご家族のニーズに応える。 看取りの体制に向けて、施設・職員ともに知識を高める。	重要事項説明書に重度化や終末期について明記し、ご家族と共有する。 看取りについて、法人内や他グループホームでの実施状況を収集し準備する。研修計画の下、職員が看取りについてより深く学ぶ環境を整える。	H30/4/1 ～ H31/3/31
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。